

28日

こども園つみき園児が稲刈りを体験

こども園つみき(油谷諭園長)のきりん組園児らが、錦町・保田さんの田んぼで稲刈りを行い、園児や保護者など約40人が参加しました。園児たちは、お父さん・お母さんや先生たちと一緒に鎌を使って稲刈りをしたり、束ねた稲をトラックへ積み込んだりする作業などを行いました。

収穫したお米は、はさ掛けして天日で乾燥させ脱穀を行った後、こども園の給食用として使用されるほか、12月上旬開催予定の「収穫祭」でおにぎりを作って食べたり、しめ縄作りを行う予定とのことです。



収穫した稲をトラックまで運ぶ園児たち

30日

とまこまい広域農業協同組合 熊本地震被災地に義援金

とまこまい広域農業協同組合が、熊本被災地への義援金18万5千円を日本赤十字社北海道支部厚真分区に寄付しました。

同農協の合併15周年記念として夏の貯金キャンペーンを6月1日～8月31日まで行い、期間中に定期貯金をされた総額の0.01%を義援金として寄付。

役場に訪れた同農協秋永徹代表理事組合長は「今後も何らかの形で、被災地や北海道の被災地について」JAグループとして義援金活動をしていきたい」とあいさつしていました。



JAとまこまい広域の秋永代表理事組合長(左)から日赤北海道支部厚真分区長の宮坂町長へ義援金を贈呈

30日

地元で熱唱！ 小寺聖夏さんのデビュー記念ライブ開催

厚真町出身の歌手、小寺聖夏さん(20)のインディーズデビューを記念したステージが、総合福祉センターで行われました。

同日発売のファーストアルバム「声が出る限り」(フレックスアートミュージック)のリリースに合わせライブを開催。CDの収録曲やカバー曲、アンコール含め全15曲を披露し、観客から大きな拍手や歓声が起こっていました。小寺さんは「大好きな厚真町で皆さんと一緒にこれからの第一歩を踏み出せて嬉しいです」とあいさつしていました。



迫力あるステージで観客を魅了した小寺さん

14日

これからもますますお元気で 町敬老会に295人が出席

平成28年度厚真町敬老会が総合福祉センターで行われ、295人が出席し、町長、議長ら来賓から長寿のお祝いを受けました。

今年度対象となる方は、100歳以上の方が3人、90歳以上の方が118人、米寿(88歳)の方が32人、一般敬老者(上記該当以外で昭和12年12月31日以前に生まれた方)が574人の計727人。

宮坂町長の祝辞の後、100歳以上、90歳以上、米寿の方に記念品が贈られました。その後祝宴が行われ出席者は楽しいひとときを過ごしていました。



宮坂町長から記念品を受け取る出席者

15日

満100歳おめでとう 齊藤ハナエさんの長寿をお祝い

満100歳を迎えた齊藤ハナエさん(本郷)に、宮坂町長が訪問し内閣総理大臣からの祝い状を届けました。

宮坂町長から「おめでとうございます」と声をかけられると、齊藤さんは「ありがとうございます」と笑顔を見せていました。

齊藤さんは鹿沼で出生。結婚後は、激動の時代の中、4人の子どもを育て上げました。「子育ては大変だった」と語っていました。



町長から祝い状を受け取る齊藤さん(中央)

15日

山野下さん(厚真中2年)詩舞で日本一に

8月28日に千葉県で開催された日本コロムビア剣詩舞コンクール全国決勝大会の「第一部(詩舞) 幼少の部」に出場し、みごと優勝を果たした山野下明音さん(本郷)が、その報告に町長室を訪れました。扇を持ち、吟詠に合わせて舞う「詩舞」。北海道地区代表として大会に出場した山野下さんは、「音響のハプニングがあり、出だしが遅れたのでダメだと思っていたが、優勝できたのでとてもびっくりした」と日本一を手にしたときの様子を、笑顔で語ってくれました。



優勝の報告に来た山野下さん(中央)と指導者の藤江さん(左)